

## コンセプト

「誰もが快適に使用でき、健康づくりを楽しむ、にぎわいと交流、安全安心の拠点」

### 誰もが快適に使用

子どもから大人、高齢者、障がいのある方、誰もが快適に。スポーツを「する人」だけでなく、「みる人」、「ささえる人」にとっても必要な機能・設備を。スポーツだけでなくレクリエーションの利用も。楽しみながら日常的に体を動かすことで健康増進につながるように。

### 健康づくりを楽しむ

### にぎわいと交流

スポーツ活動から大会、イベント等、にぎわいと交流が生まれる施設に。競技スポーツ大会を行いさらなるにぎわいと交流を。

### 安全安心の拠点

防災拠点としての機能を持たせ、市民の安全安心のよりどころとなる拠点に。



にぎわいのイメージ

災害時活動拠点のイメージ



## AREA

## 整備敷地

スポーツだけでなく、災害時には活動拠点や避難場所として利用することから、平常時の視点のみならず、災害時の視点も含めて検討しました。敷地特性や事業性、施設配置に関する比較検討の結果、スポーツ広場公園と一体性を考慮した柔軟な活用が可能で、国道 21 号や県道江南・関線からアクセスしやすい、スポーツ広場公園の南東の敷地に決定しました。



国道 21 号と県道江南関線の両方に近く、各務原市の中央部に位置します。

JR 各務ヶ原駅、名鉄二十軒駅から徒歩圏内（徒歩 10 分程度）で、ふれあいバスのバス停は敷地に隣接しています。

### 敷地に関する評価結果の概要

- ・スポーツ広場公園と一体性を考慮した柔軟な活用が可能
- ・国道 21 号等からアクセスが良い
- ・既存の住宅地やライフラインに配慮した施設配置が可能

凡 例	
★	公共公益施設
★	コンビニエンスストア
★	飲食施設
---	計画地

掲載されている各種図面や写真は現時点でのイメージであり、今後変更することがあります。より詳しい計画本編（令和 4 年 9 月策定）は、右記の QR コード® からご覧いただけます。

お問い合わせ 各務原市教育委員会教育施設整備推進室 ☎058-383-7302  
各務原市市長公室防災対策課 ☎058-383-1190



## CONCEPT

# 各務原市新総合体育館・ 総合運動防災公園 整備基本計画

## ダイジェスト版



## 概要

現総合体育館（昭和 58 年建設）は、メインアリーナや観覧席等に空調設備がなく、一部の競技でコートが規格に適合していないほか、各種大会の際に駐車場が不足するなど様々な課題を抱えています。

こうした課題を解決し、今後もスポーツによる市民の健康増進やスポーツを通じた交流を推進するため、新しい総合体育館を整備することとしました。

本計画では、スポーツ施設の充実に加え、新たなにぎわいと交流、安全安心の拠点とする観点から、敷地全体を公園として整備することとしました。

## OUTLINE



## 現総合体育館の課題

- ・駐車場が 140 台しかなく、利用者の需要に対応できていない  
※現総合体育館は既存市街地にあるため、敷地の拡大は困難
- ・アリーナや観覧席に空調設備がない
- ・アリーナが一部の競技コートの規格に対応できていない  
※正式なコートで市民大会が実施できない競技…ハンドボール、バスケ、テニス等

## PROBLEMS



バスケットボールの競技規則上の寸法と、現総合体育館の寸法

正式なコート寸法 28m×15m 必要 → 現在のコート寸法 24.5m×14m しかない

コートから障害物までの余幅 5m以上 必要 → 現在のコートから壁までの距離 約 0.9m しかない

# 新総合体育館

市民の皆さんが利用しやすいことを第一に考えて計画しました。

## メインアリーナ

長辺 バasketボールコート3面がとれる寸法 (69m)

短辺 ハンドボールやフットサルのコート1面がとれる寸法 (46m)

観覧席 1,400 席程度

臨時観覧席を仮設することで計 3,000 席程度を確保し、プロスポーツ大会等の「みる」スポーツやコンサート、成人式等のイベントにも対応します。

## サブアリーナ

ハンドボールやフットサルのコート1面がとれる寸法

観覧席 300 席程度

## 武道場 (畳)

柔道や合気道の競技面1面がとれる寸法、観覧等スペース

武道場 (畳・板) には収納式の鏡を設置して、ベビー・親子体操やフィットネス・エクササイズなど、健康増進に繋がる多目的な利用に対応します。

## 武道場 (板) 兼多目的室

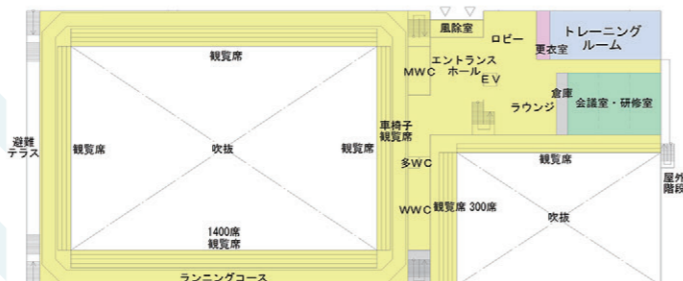
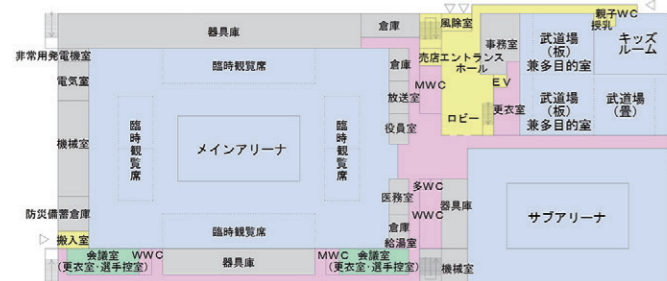
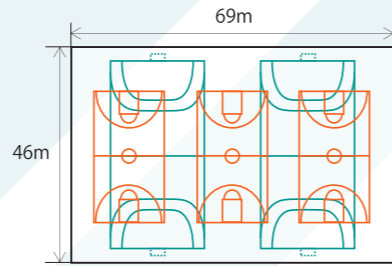
剣道や空手の競技面2面がとれる寸法 (畳を仮設して柔道や合気道にも対応)、観覧等スペース

## キッズルーム

公園利用者も使いやすいよう、室内遊具や親子トイレ、おむつ替えスペース、授乳室等を設置

## その他

トレーニングルーム、ランニングコース、更衣室 (シャワールーム)、ラウンジなど



1階イメージ

2階イメージ

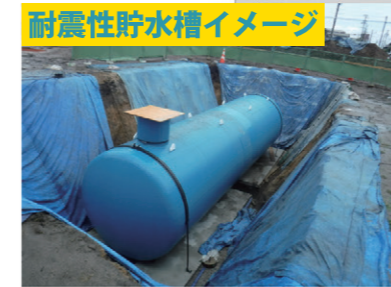
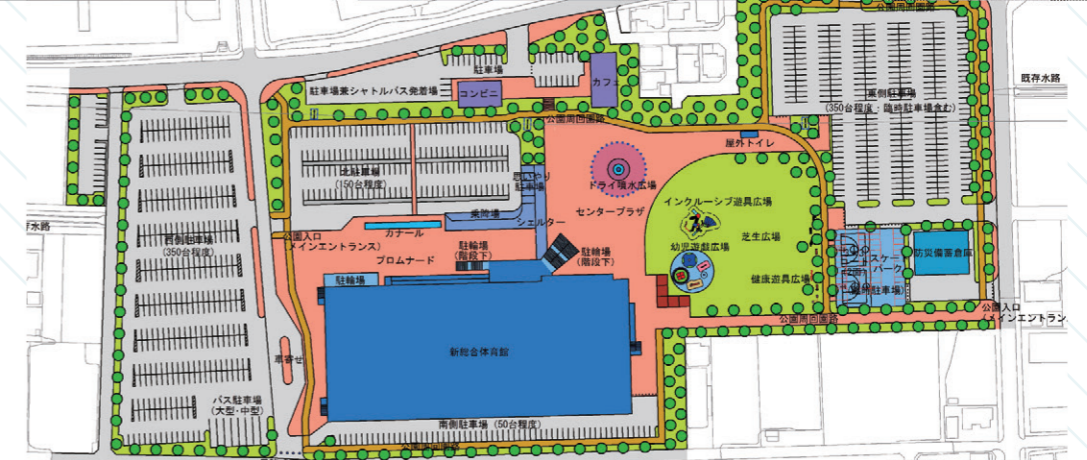
## 民間活力の導入

新しい事業手法として、民間活力の導入を推進します。具体的には、「設計・工事・施設運営」を一括で発注し、それぞれの民間企業独自のノウハウを設計や工事、施設運営に反映することで、合理的な施設とするとともに、トータルコストの削減を図ります (PFI や DBO と呼ばれる手法です)。

# 総合運動防災公園

にぎわいと交流、安全安心の拠点とする観点から、敷地全体を公園として計画しました。

公園の中に、新総合体育館、防災備蓄倉庫を建設し、芝生広場や噴水広場等を作ります。また、利用者の利便性向上のため、カフェやコンビニ等の誘致も計画します。



## 災害時の活用

公園全体を災害時の「安全安心の拠点」として、以下の3つの機能を備えます。

- ①災害時活動拠点 自衛隊、消防、警察、ライフライン復旧機関などが集結し、互いに連携して活動する拠点とします。
- ②避難場所 河川氾濫など、避難場所となっている公共施設が使用できない際の臨時的避難場所として活用します。
- ③物資の拠点 市内各避難所をカバーするとともに、国や県など外部からの支援物資等の受け入れも行います。



## 概算事業費・スケジュール

公園整備費約35億円、体育館建設費約84億円、防災備蓄倉庫建設費約1億円の合計約120億円を見込んでおり、そのうちの市の負担を軽減するため国の補助金等を活用します。令和4年度から用地取得に着手し、公園と体育館等すべての施設が完成するのは、令和11年度頃になると想定しています。